

ラゼック手術3カ月経過

私は、中学校2年生の時に初めて眼鏡をかけて以来、今日まで約35年間、眼鏡と共に生活、仕事をしてきました。一生このままだろうと思っていたものです。しかし、10年ほど前に「レーシック」という近視の矯正手術が開発されたことを知りぜひ受けたいと強く思っていました。仕事で都会に出張の折には、時間を作って適応検査を2つの病院で実際に受けたこともありましたが、術後の定期検査やもしもの場合を思い、また病院の対応等を考えたとき、私が住む地元（周南市）に近いところに専門の病院が出来ないものかと、手術は、半ばあきらめていました。

しかしながら、この夏（平成23年7月）知り合いから「レーシック」の専門病院が4月に防府市駅前に開院して、すでに何人もの人が手術を受けたとのことを聞き、それが「かわもと眼科」様との最初の出会いでした。即電話して適応検査の予約を取り、8月25日に手術をし、現在（12月）に至っております。術後3カ月が経過しました。

適応検査の結果、私の場合通常のレーシックではなく「ラゼック」という術式での手術となりましたが、事前の先生からの丁寧な説明と術後の親切なご対応で、大変満足のいく毎日を過ごさせて頂いております。レーシックとは違い、少しばかりフォロー期間が必要なラゼックですが、何の不自由なく大変良好に日常生活を送っております。

執刀して頂き、術後フォローも大変よくして頂いています山下先生並びに病院スタッフの方々へ御礼の言葉をお送りし、私の体験記とさせて頂きます。ありがとうございました。

平成23年12月7日

赤坂 徳靖 （赤坂印刷株式会社 代表取締役社長 周南市在住）